

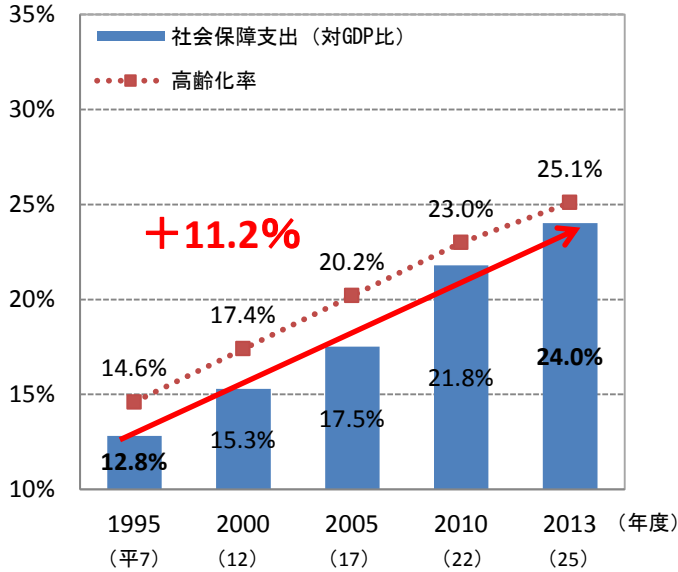
# ドイツの社会保障支出とGDPの推移等



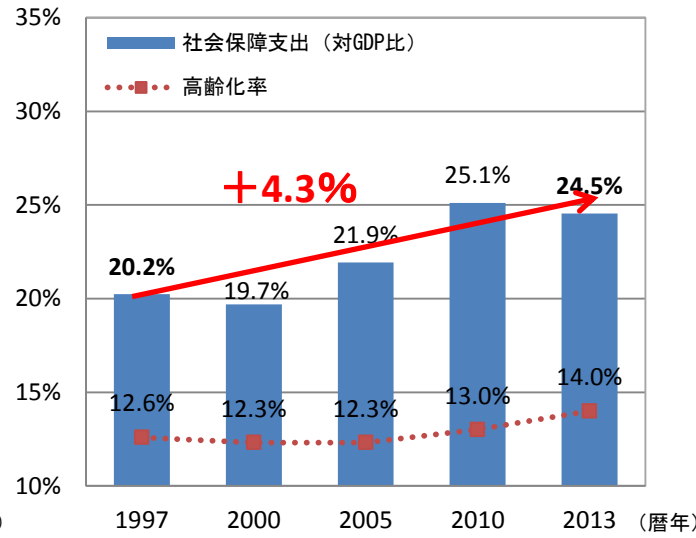
# 近年の社会保障支出と高齢化率の推移(1995-2013)

前回(9/30)財審資料

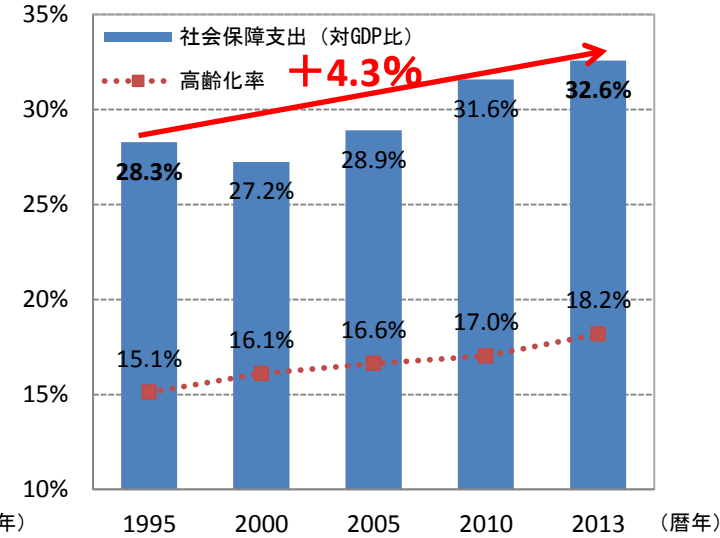
### <日本>



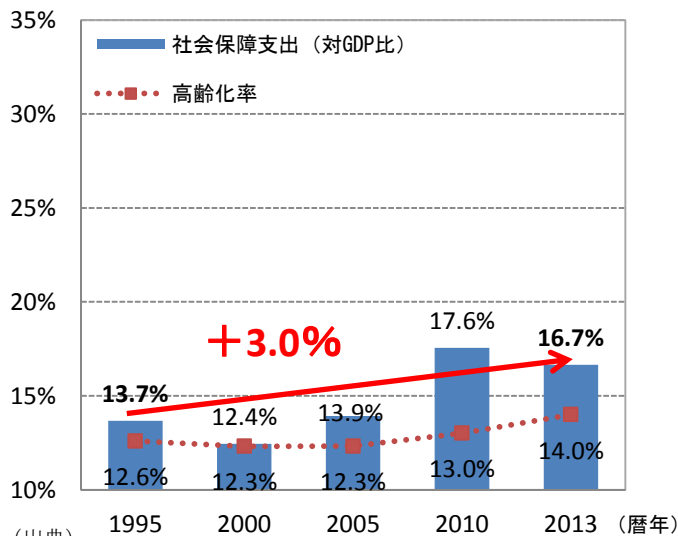
### <イギリス>



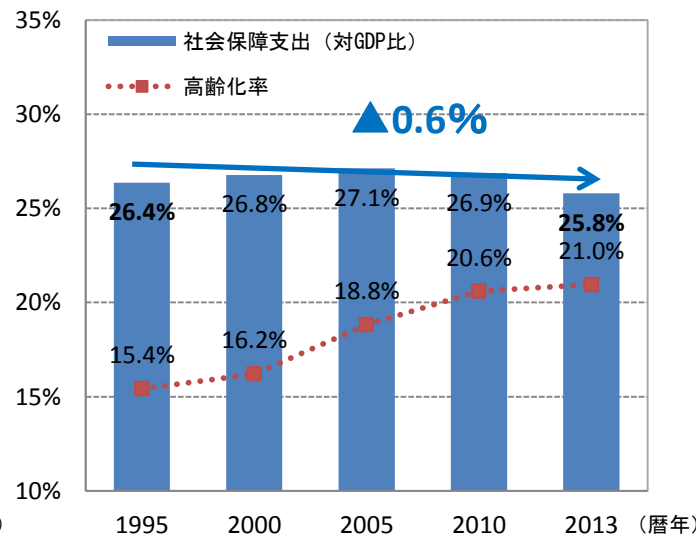
### <フランス>



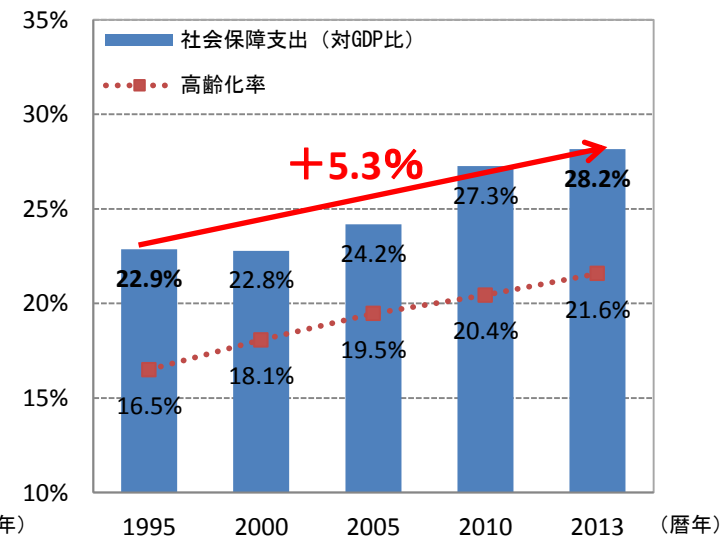
### <アメリカ>



### <ドイツ>



### <イタリア>



(出典)

社会保障支出: 諸外国はOECD「National Accounts」。イギリスは1995年のデータが存在せず、遡及可能な1997年のデータを使用。日本は2010年度までは国立社会保障・人口問題研究所「社会保障費用統計」の社会保障給付費を使用、2013年度は厚生労働省推計の2013年度予算ベースの給付費を使用。

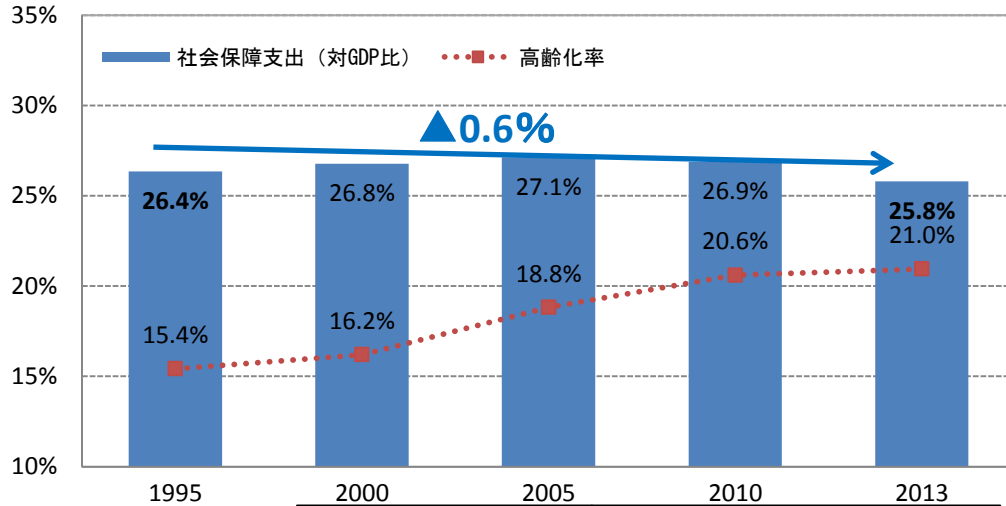
高齢化率: 諸外国は国際連合「World Population Prospects 2015 revision」。日本は2010年までは総務省「国勢調査報告」、2013年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2012年1月)」。



# 社会保障支出とGDPの推移と抑制の取組

○ シュレーダー政権による改革は2000年以降順次実施され、高齢化が進む中で社会保障支出の伸びは抑制。2005年以降では、社会保障支出の伸率が名目GDPの伸率を下回っている。

## ドイツの社会保障支出と高齢化率の推移 (前回 (9/30) 財審資料)



(単位: 億ユーロ、%)

	シュレーダー政権	メルケル政権
1995		
2000		
2005		
2010		
2013		

	1995	2000	2005	2010	2013
社会保障支出	5,005	5,667	6,243	6,933	7,276
過去5年伸率 (年平均)	-	2.5% (95-00)	2.0% (00-05)	2.1% (05-10)	1.6% (10-13)
名目GDP	18,989	21,165	23,009	25,801	28,208
過去5年伸率 (年平均)	-	2.2% (95-00)	1.7% (00-05)	2.3% (05-10)	3.0% (10-13)
高齢化率	15.4%	16.2%	18.8%	20.6%	21.0%

シュレーダー改革実施期～リーマンショック前

	00-01	01-02	02-03	03-04	04-05	05-06	06-07	07-08
社会保障支出伸率(単年)	2.9%	3.0%	2.7%	▲0.4%	1.6%	0.5%	0.4%	2.0%
名目GDP伸率(単年)	3.0%	1.4%	0.5%	2.3%	1.3%	4.0%	5.0%	1.9%

(出典) 社会保障支出、GDP: OECD "National Account", 高齢化率: 国連 "World Population Prospects 2015 revision"

□ : 社会保障支出の伸率がGDPの伸率を下回る。

## シュレーダー政権(1998年～2005年)における主な取組 (「アジェンダ2010」(2003年)等)

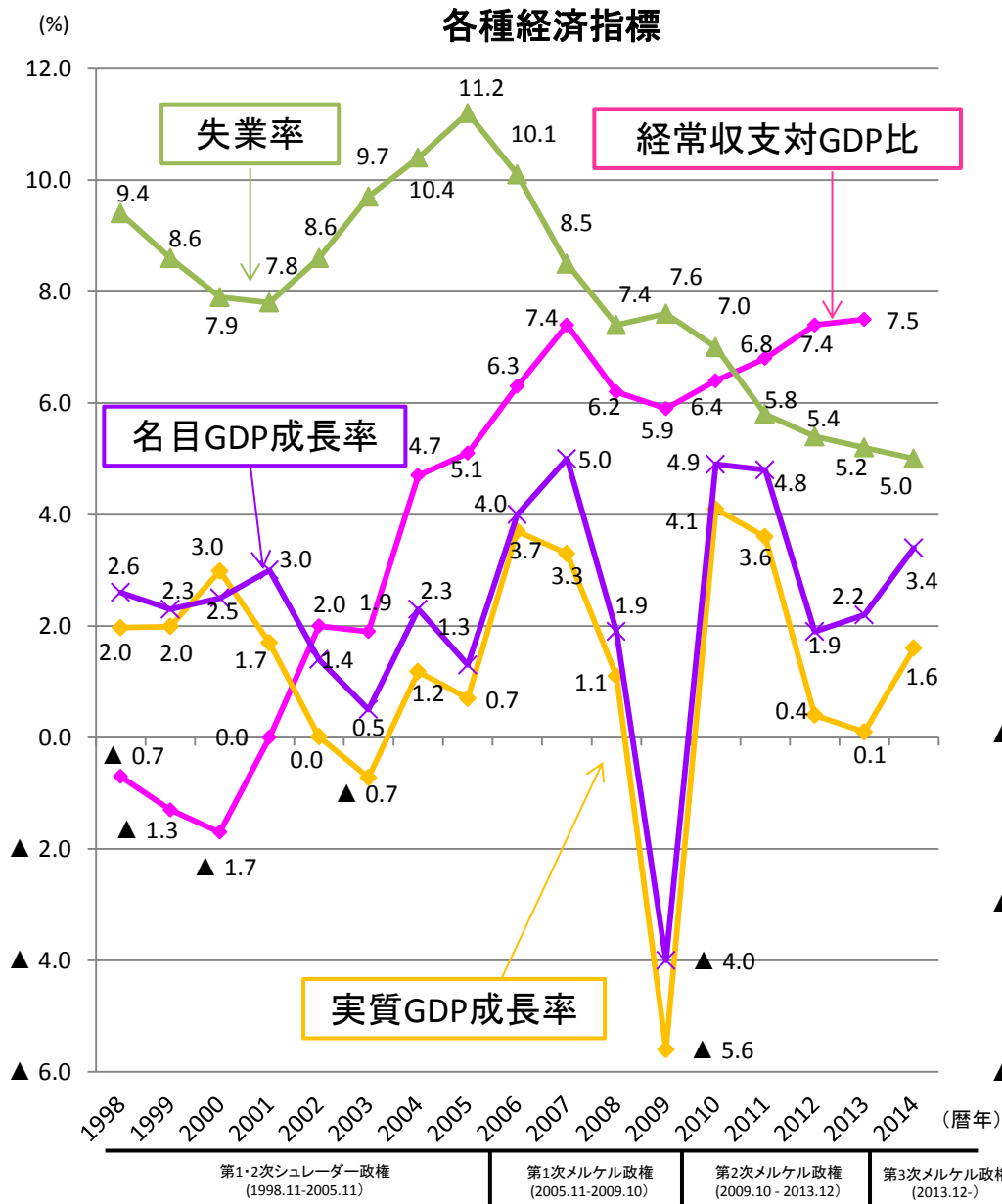
- 労働市場(失業給付制度改革)
  - ー 支給期間短縮(最長32ヶ月→原則12ヶ月、最長18ヶ月(55歳以上の場合))(2006年～)
  - ー 支給要件の厳格化(就労斡旋拒否時に給付を最大3割カット)(2005年～)
  - ー 失業扶助と社会扶助を再編・整理し、給付水準を引下げ(前職賃金の約5割→月額345ユーロ)(2005年～)
- 医療
  - ー 診察費用の自己負担の拡大等(2004年～)
- 年金
  - ー 2000年・2001年の年金額の上昇幅をインフレ率連動に抑制
  - ー 2004年の年金引上げの凍結
  - ー 年金給付水準の段階的引下げ(2010年以降、所得代替率70%→67%)
  - ー 失業者等に対する年金早期受給制度の支給開始年齢を2006年から2008年にかけて60歳から63歳に引上げ

## メルケル政権(2005年～)における主な取組

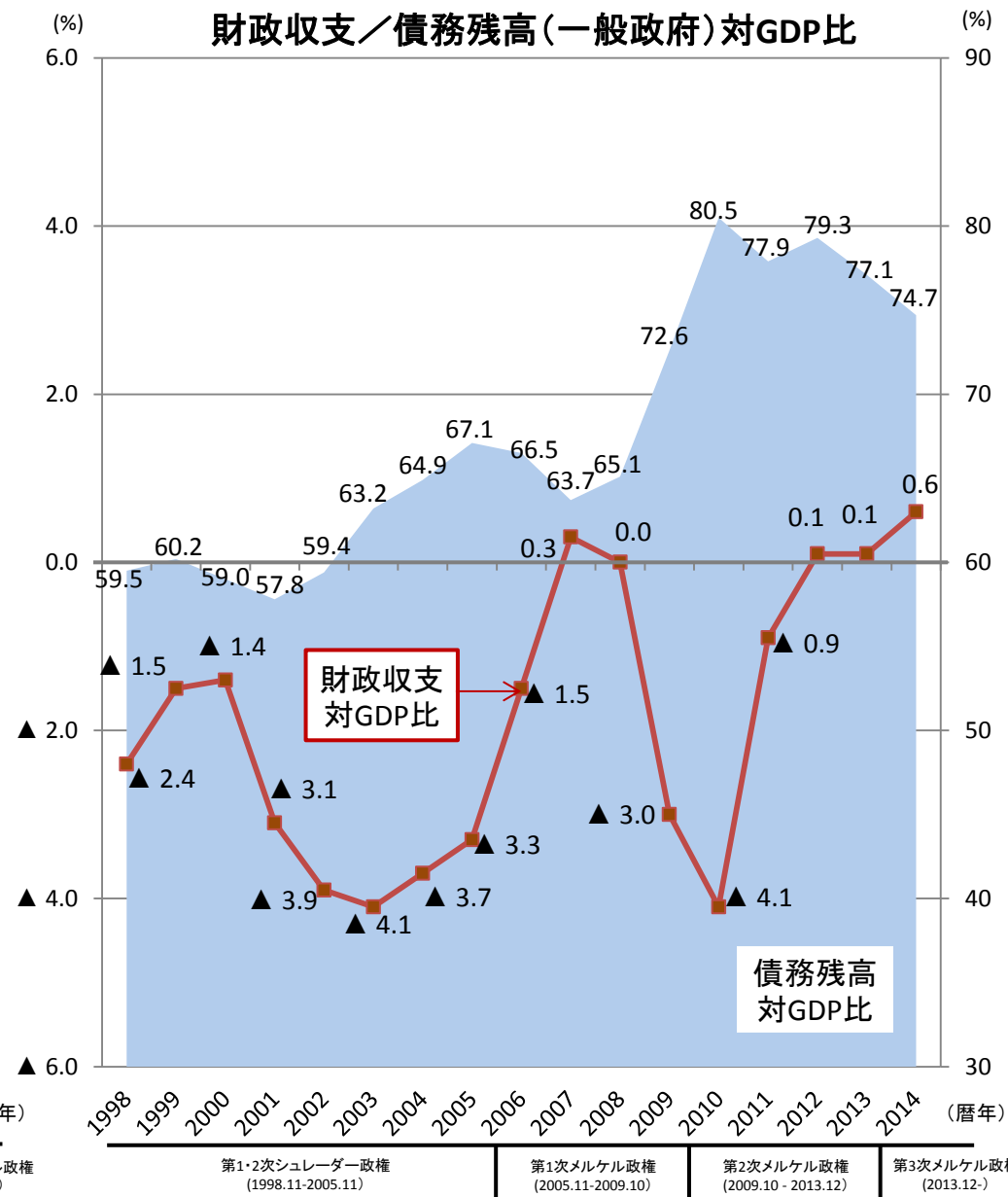
- 年金支給開始年齢の引上げ(65歳→67歳)(2012年～)
- 長期失業者に対する失業給付を抑制、長期失業者に対する年金保険料支払いへの補助の廃止等(2011年～)



# (参考)ドイツの経済・財政関連指標の推移



(出典) 名目GDP成長率、実質GDP成長率: ドイツ連邦統計庁  
失業率、経常収支対GDP比: Eurostat



(出典) 財政収支対GDP比: ドイツ連邦財務省  
債務残高対GDP比: Eurostat